

富士急行株式会社 ホテルマウント富士



ヒートポンプ給湯

贈呈理由 > 給湯ボイラへヒートポンプ給湯機を追加したハイブリッド給湯導入による省エネの実現



ホテルマウント富士

富士急行株式会社は「『喜び・感動』を創造することで、世界中の人々の心を豊かに、」を理念に、交通、レジャー、不動産、物販など、さまざまな事業でシナジー効果を生み出し、富士山の雄大な姿に惹かれるすべての人に夢・喜び・快適・やすらぎ・感動を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーとなることを、経営ビジョンとして掲げている。

「ホテルマウント富士」は山中湖畔・大出山山頂に瀟洒な姿で佇む、富士山を見るためだけに建てられたリゾートホテルである。なにひとつさげざるものない壮大な視界に、富士山と山中湖を一望できる絶好のロケーションが魅力で、四季の表情をはじめ「紅富士」「ダイヤモンド富士」などの多彩な富士山を鑑賞できる。

環境性と経済性に優れた設備を検討

富士急グループでは、「富士を世界に拓く」を創業精神として、経営ビジョ

ン達成のため自然環境、地域社会を大切に、信頼される会社になることを目指している。

当然ながらCO₂の削減など、環境負荷低減も課題となっており、これまでも設備更新の際にはあわせて検討を行ってきた。

当ホテルでは、お風呂などに使用する給湯ボイラの燃料であるA重油の削減を検討していたところ、熱効率のよいヒートポンプ給湯を併用することを知った。給湯のベースをヒートポンプ給湯機、変動分をボイラでまかなうことで、CO₂排出量の削減と燃料費削減を実現した。また、導入費用も環境省

の補助金を活用することで抑えることができた。

今後も、他施設への水平展開や省エネ設備の導入など、省エネ推進と環境負荷低減に努めていく。

一次エネルギー消費量削減効果

【採用システム】

ヒートポンプ給湯機×4台
貯湯槽4t×1台

[従来システム]

温水ヒーター×2台・貯湯槽4t×3台

削減率
-15%

[諸元] 同一負荷条件による年間シミュレーション比較
※1 電気(全日) 9.76MJ/kWh ※2 A重油 39.1MJ/l
※1「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
(平成28年3月1日改正)
※2「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」
(平成28年3月1日改正)



ヒートポンプ給湯機

ホテルマウント富士

所在地：山梨県南都留郡山中湖村山中1360番地83

蓄熱設備設計：フジライズ(株)

蓄熱設備施工：フジライズ(株)

竣工：2017年2月(新設)

URL：http://www.mtfuji-hotel.com/

■蓄熱設備概要

業務用ヒートポンプ給湯機 30kW×4台

[三菱重工サーマルシステムズ]

貯湯槽：4m³ [森松工業]